

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	静岡市中心身障害児福祉センター いこいの家		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の関係機関と連携して支援を行う体制を整え、訪問先施設と信頼関係を築きながら、専門的な支援を行っています。	今年度は静岡市障害者自立支援協議会こども部会において、関係機関との連携をテーマに好事例発表を行いました。訪問支援をより効果的に実施していくために、お子様への関わりを指導する立場ではなく、一緒に支援方法を考えていく協力者であるということを訪問先施設の先生方に理解していただけるよう留意し、専門的な立場としてより効果的な関わりの方を提案できるよう努めています。	児童発達支援センターの中核機能としての役割をより充実していくために、関係機関との連携をさらに強化していきます。事業の目的や説明を丁寧に言い、訪問先施設の先生方も安心して支援を受けられるよう取り組んでいきます。
2	お子様、訪問先施設の環境について、丁寧にアセスメントを行っています。	支援担当が公認心理師であり、専門性を持って、お子様について、訪問先施設の環境も含めて、丁寧にアセスメントを行っています。今年度も必要に応じてお子様の発達検査を実施し、保護者様・訪問先施設と共有しています。	アセスメントの内容をより具体的にお子様の姿へとつなげ、保護者様、訪問先施設の先生方と共有し、実際の支援に生かしていきます。
3	支援実施後に、保護者様や訪問先施設へ支援内容の共有をはかるため、同様の報告書を作成し、支援の振り返りを行っています。	支援実施後に保護者様、訪問先施設に対し、同様の支援報告書を作成し、お渡ししています。報告書では、お子様の行動の背景・大人の関わり等を分析し、今後の支援方針について具体的な提案を行っています。お子様の課題の把握をし、具体的な関わりの方を提案しています。加えて、お子様の望ましい姿、先生方の適切な関わりについても振り返りを行い、今後の支援の方向について共通理解をはかっています。	よりわかりやすい報告書の作成を目指し、訪問先施設の環境の中で実現可能な具体的な支援方法を提案していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通信やホームページ・SNS等での情報発信について、6割の保護者様から、わからない・どちらともいえないの回答がありました。訪問支援については、SNS等で積極的な情報発信ができていません。	園内向けのおたよりや園外向けの通信には年1回訪問支援についての記事を掲載しています。通園事業と訪問支援を併用している保護者様を対象に、おたよりや通信の公開を連絡アプリにてお知らせしていますが、訪問支援のみの契約の保護者様については連絡アプリでのやりとりは行っていません。	今後もいこいの家のホームページ、Instagramにて情報を知っていただけるように、情報媒体の周知を行い、訪問支援事業についての記事についても、利用保護者様のニーズや個人情報取扱いに配慮しながら掲載を検討していきます。
2	訪問支援に使用する教具教材が整えられているかの設問に対し、4割の保護者様からわからないという回答がありました。	支援実施後に作成している報告書にて、お子様の行動の背景や大人の関わり等を分析し、今後の支援方針について具体的な提案を行っています。支援員がどのような教材を使用しているかについて、わかりにくい点があったかと考えられます。	今後も必要に応じて、お子様それぞれにあった教材を提供しながら支援をすすめていき、保護者様への説明も丁寧に行っていきます。
3			